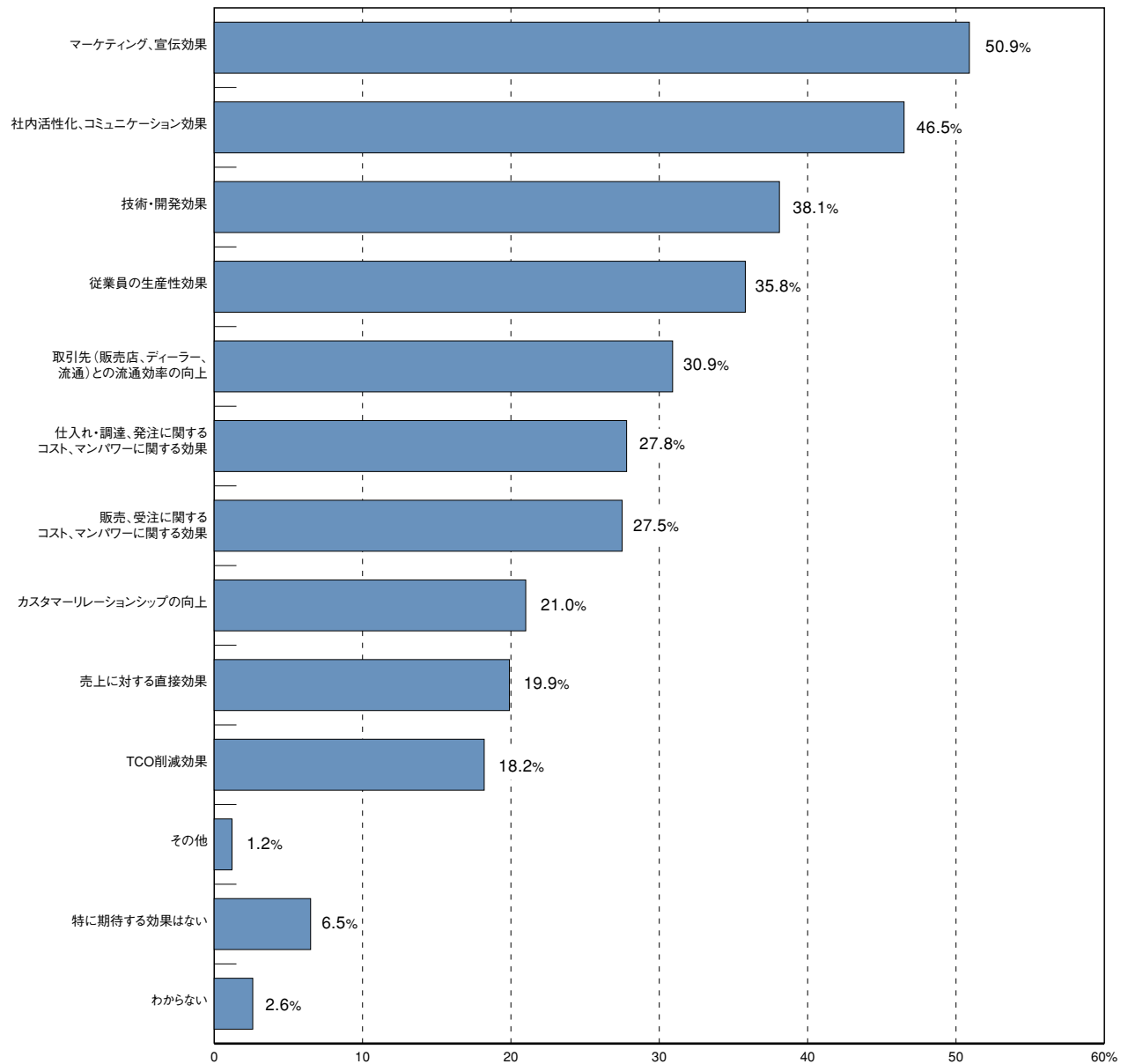


インターネットの 利用効果

利用目的はおもにマーケティングやコミュニケーション

資料4-5-3 今後期待しているインターネット利用効果 N=818



インターネット利用で今後期待する効果の上位4つには、おそらく現在もインターネットの利用効果として認識されているはずの要因が並んでいる。製造業や流通業では、製品の仕入れや流通の効率化、販売業者との関係強化も将来に向けたテーマであろう。市場や競合他社に関する情報収集、分析のための利用は今後も重要な利用目的であり続けるだろう。

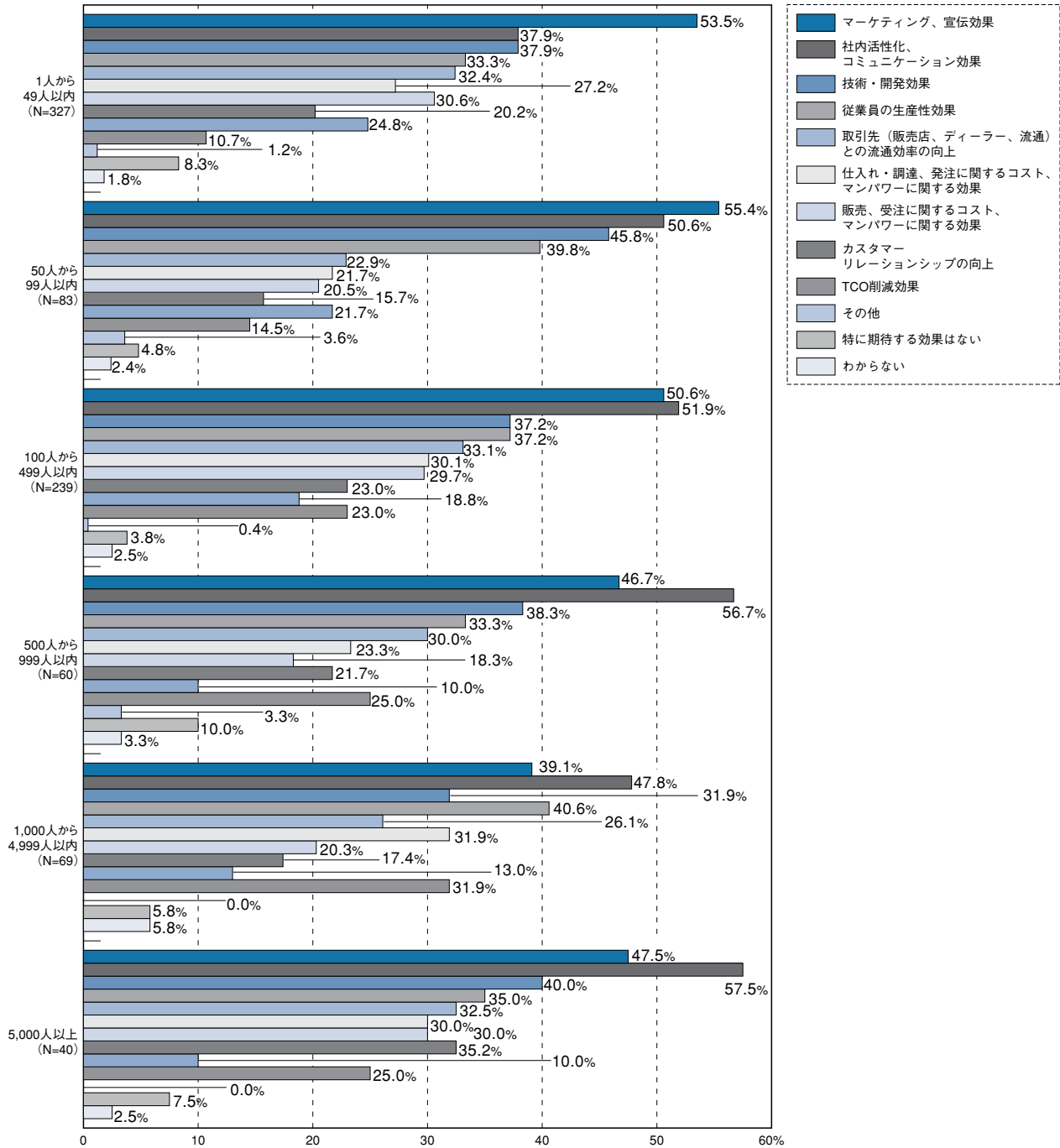
©impress,2004

インターネットの利用効果

社内の活性化やコミュニケーションツールとしての期待が大きい

資料4-5-4 従業員規模別 今後期待しているインターネット利用効果

第4部
企業利用動向



今後期待するインターネット利用効果を従業員規模別に見ると、中堅以上の企業では、社外に向けたマーケティング・宣伝効果よりも、社内の活性化やコミュニケーションツールとしての期待のほうが大きいことが分かる。仕入れや流通といった業務に直結する部分については、企業規模の大小にあまり関係なく期待されている。

©impress,2004



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp